平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名　ワイエスフード株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3358　URL　http://www.ys-food.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 緒方　正憲
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 岩下　征吾　TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	575	△20.6	△16	―	△18	―	△36	―
24年3月期第1四半期	724	△5.7	△2	―	△5	―	△25	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△31百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△25百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△967.58	―
24年3月期第1四半期	△683.53	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	3,930	2,017	51.3	54,048.98
24年3月期	4,118	2,049	49.8	54,899.30

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　2,017百万円　24年3月期　2,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	―	―	―	―	―	―	―	―	―
通期	2,409	△15.2	74	170.4	64	338.6	25	―	671.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、【添付資料】P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	38,730 株	24年3月期	38,730 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,400 株	24年3月期	1,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	37,330 株	24年3月期1Q	37,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や経済政策効果により緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州金融問題や電力の安定供給への不安、円高の長期化等により、雇用・所得環境の個人消費の大幅な改善には至らず、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましても、世界経済の減速懸念、計画停電等によるエネルギーの価格上昇・安定供給への不安、増税・年金問題等に加え、「食」の安心・安全に対する社会的関心も高くなり、消費者の外食控えの傾向が強まる一方、顧客獲得に向けた外食市場での低価格競争に加え、新規参入者との企業間競争も激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、店舗モニタリングの継続、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組むことで店舗体質を改善するとともに、社員の独立支援を積極的に行い、社員のモチベーションの向上を図ることで、店舗収益の増加及び固定費の圧縮等、企業体質の改善を進めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ149百万円減少し、575百万円となりました。利益面につきましては、営業損失16百万円（前年同四半期は営業損失２百万円）、経常損失18百万円（前年同四半期は経常損失５百万円）、四半期純損失36百万円（前年同四半期は四半期純損失25百万円）の減益となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前第２四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(外食事業)

当第１四半期連結累計期間における外食事業におきましては、各種セール及び新メニューの導入を実施するとともに、店舗モニタリングの継続と、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組み、店舗体質の改善に努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の店舗状況は、海外での新規出店が3店舗、契約満了を含む店舗の閉鎖が7店舗(ＦＣ店5店舗、海外2店舗)、直営店からＦＣ店へ変更した店舗が5店舗あったことから、当第１四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ4店舗減少して149店舗（直営店23店舗、ＦＣ店108店舗、海外18店舗）となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は535百万円（前年同四半期比22.0%減）、営業利益4百万円（同76.0%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第１四半期連結累計期間の売上高は13百万円（同5.4%減）、営業利益6百万円（同18.5%増）となりました。

(外販事業)

連結子会社大幸食品㈱が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺㈱が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第１四半期連結累計期間における外販事業の売上高は22百万円（同1.3%減）、営業損失15百万円（前年同四半期は営業損失10百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は792百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が150百万円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は3,137百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が16百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円の減少となりました。

(負債)

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は924百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が22百万円及び未払法人税等が24百万円減少したこと等によるものであります。また、固定負債は987百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が92百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円の減少となりました。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は2,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が36百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資産比率は51.3%（前連結会計年度末は49.8%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成24年５月15日に公表致しました連結業績予想の変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ減少しておりますが、金額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	616,230	465,683
売掛金	112,304	111,388
有価証券	10	10
商品及び製品	124,025	117,520
仕掛品	4,152	6,116
原材料及び貯蔵品	24,402	23,700
その他	75,250	68,439
貸倒引当金	△718	△695
流動資産合計	955,658	792,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,137,982	1,141,099
機械装置及び運搬具（純額）	90,017	86,302
土地	1,566,172	1,566,172
その他（純額）	34,385	18,861
有形固定資産合計	2,828,557	2,812,435
無形固定資産		
のれん	39,851	34,869
その他	12,979	12,287
無形固定資産合計	52,830	47,157
投資その他の資産		
投資有価証券	31,116	35,700
繰延税金資産	104,059	98,823
敷金及び保証金	149,804	137,862
その他	12,256	21,534
貸倒引当金	△15,821	△15,657
投資その他の資産合計	281,414	278,262
固定資産合計	3,162,802	3,137,856
資産合計	4,118,461	3,930,019

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,158	82,761
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	391,732	378,217
未払法人税等	30,696	6,393
賞与引当金	13,012	12,412
ポイント引当金	5,878	4,068
資産除去債務	1,000	1,000
その他	237,635	239,754
流動負債合計	985,114	924,607
固定負債		
長期借入金	807,514	715,409
退職給付引当金	77,363	73,767
役員退職慰労引当金	45,850	47,492
資産除去債務	44,308	44,547
その他	108,919	106,546
固定負債合計	1,083,956	987,763
負債合計	2,069,070	1,912,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	266,831	230,711
自己株式	△29,400	△29,400
株主資本合計	2,039,231	2,003,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,159	14,537
その他の包括利益累計額合計	10,159	14,537
純資産合計	2,049,391	2,017,648
負債純資産合計	4,118,461	3,930,019

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	724,458	575,379
売上原価	223,657	237,018
売上総利益	500,801	338,361
販売費及び一般管理費	503,227	354,499
営業損失（△）	△2,426	△16,137
営業外収益		
受取利息	233	211
受取配当金	45	44
協賛金収入	209	500
未払配当金戻入益	526	455
その他	990	878
営業外収益合計	2,005	2,091
営業外費用		
支払利息	4,739	4,269
その他	257	193
営業外費用合計	4,997	4,463
経常損失（△）	△5,418	△18,509
特別利益		
固定資産売却益	－	54
特別利益合計	－	54
特別損失		
固定資産除却損	249	415
減損損失	24,148	－
特別損失合計	24,397	415
税金等調整前四半期純損失（△）	△29,815	△18,870
法人税、住民税及び事業税	7,132	4,910
法人税等調整額	△11,432	12,338
法人税等合計	△4,299	17,248
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△25,516	△36,119
四半期純損失（△）	△25,516	△36,119

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△25,516	△36,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	4,377
その他の包括利益合計	△67	4,377
四半期包括利益	△25,583	△31,742
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,583	△31,742
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	687,243	14,491	22,343	724,078	380	724,458	－	724,458
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,945	39	968	2,953	－	2,953	△2,953	－
計	689,189	14,530	23,312	727,031	380	727,411	△2,953	724,458
セグメント利益又は損失（△）	16,770	5,633	△10,622	11,781	37	11,819	△14,245	△2,426

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△14,245千円には、セグメント間取引消去610千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△14,856千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、24,148千円を減損損失として特別損失に計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	535,850	13,716	22,051	571,617	3,762	575,379	－	575,379
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,132	39	819	2,991	－	2,991	△2,991	－
計	537,982	13,755	22,870	574,608	3,762	578,370	△2,991	575,379
セグメント利益又は損失（△）	4,023	6,677	△15,440	△4,738	496	△4,241	△11,895	△16,137

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△11,895千円には、セグメント間取引消去317千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△12,213千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

前第２四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「外販事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第１四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。